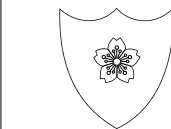


# 鳳鳴会会報



第32号  
2004. 2. 15

発行  
秋田県立大館鳳鳴高校  
鳳鳴会  
〒017-0813 大館市金坂後6  
TEL・FAX0186-44-5411  
URL <http://www.homei.jp>  
題字  
藤嶋省平鳳鳴会顧問  
印刷  
武内印刷株式会社

おじゃまします。シリーズ9

この度は一〇五周年事業の一つであり、兵庫県立篠山鳳鳴高校訪問に参加させていただきました。私が感じた事を報告いたします。

そこは大都会の近くにありながら、山々に囲まれた小さな盆地でありました。デカンショ節の一節のように山家の猿が又名物の猪が出てもおかしくないような山深いところでした。



街の規模は丁度扇田位でしょうか。コンビニも見かけず、サラ金の看板も目に付かず、全国組織の大型店や高層建築もない、古い街並がそのまま残されていて映画のセットを思わせる静かなたたずまいに三十七、四十年前にタイムスリップした感じがしました。

歓迎セレモニーでは体育館で全校生徒が「森吉の嶺鳳凰の……」の校歌で我々一行を迎えてくれました。感涙にむせんで歓迎のあいさつをしてくれた上田校長先生の心意気が感じられ、同じ校名を持つ両校交流に参加できたことは幸せなことでした。本校の生徒代表三人もとて

十月十九日(日)は春日大社の例大祭で、荘厳な雅なお祭り、飛騨高山の鉾のような京祇園祭にも似て見事なものでした。

翌日訪問した学校は少し郊外の小丘にあつて、校門から五〇m程の坂道を登つて校舎に入るようになっていてこの坂道が高校生の身体づくりに役立つのではないかと思います。

本校の生徒代表三人もとて、も立派な態度で、特に生徒会長佐藤香織さんの堂々とした



歓迎セレモニーでは体育館で全校生徒が「森吉の嶺鳳凰の……」の校歌で我々一行を迎えてくれました。感涙にむせんで歓迎のあいさつをしてくれた上田校長先生の心意気が感じられ、同じ校名を持つ両校交流に参加できたことは幸せなことでした。本校の生徒代表三人もとて

広報委員長  
小泉 槇子(16期)

## 105周年記念事業

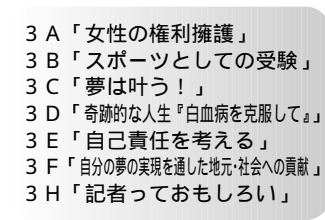
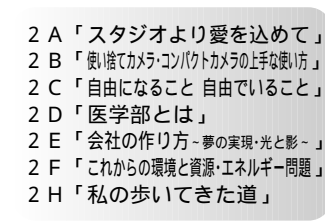
9/27・28 懐かしの中・鳳鳴展  
- 松下村塾と竹村吉右衛門展 -  
いとく大館ショッピングセンター  
入場者数 約1000名



# 先輩たちによる課外授業 ～学校花まるのプラン～



- 1 A 「潤いある空間づくりを」
- 1 B 「戦後の日本、これからの日本」
- 1 C 「彼を知り己を知る」
- 1 D 「龍馬暗殺の真相」
- 1 E 「日本料理と郷土」
- 1 F 「福祉の常識と非常識」
- 1 H 「薬学部と薬剤師のいままで、そしてこれから」



10/3 9:00~10:00

先頃兵庫県立篠山鳳鳴高等学校を訪れる機会に恵まれたが、大館からの一行とは別行動で篠山入りした私は「全国鳳鳴行脚」の最終地に篠山を選んでいった。実は「鳳鳴」を冠する学校がまだあった。それは山口県美都郡美東町立鳳鳴小学校。山口市から秋吉台へ向かう途中の四方を狭隘な山に囲まれた小さな学校だ。

十月十七日、鳳鳴小学校の木村校長先生を訪ねた。鳳鳴小学校は映画やCMに登場しそうな感じの木造校舎で、実際に口ケのオファーも何度かあったらしい。校長室には吉田松陰の座像があり、萩が近いことを実感できた。校長先生から学校の歴史や概略を伺うと、創立明治六年で百三十年の伝統校というものの、現在は全校児童六名で高学年生はいないという。近くにあって銅山が興隆の頃でも百名程ということで、元々小さな学校であったらしい。その証拠に玄関には歴代の卒業写真が飾ってあった。統廃合の憂き目も何度かあったそうだが、地域の学校を無くしてはならないと、浄財により資金には余裕があるとの事であった。児童一人あたり教職員二名(臨時も含む)という恵まれた環境とはいえ、広い教室に机が二つという光景は切ないものがあった。



校名は、近くに聳える「鳳山(ほうせんさん)」からの由来らしいとの事であった。鳳山は山口市の西に位置する山口県のシンボリックな山である。その事もあってか山口大学では「鳳」の字を好んで使っているような事も分かった。インターネットで調べると同大馬術部には「鳳鳴号」なる馬がいるほか、殆どの馬が「鳳」の字を冠している。

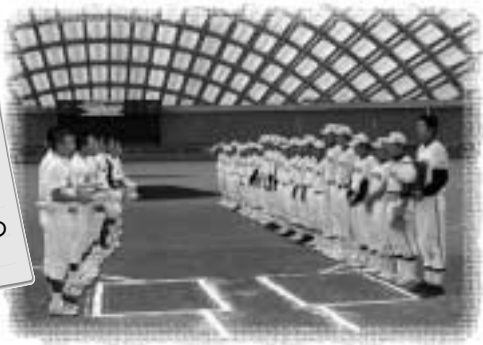
山口県下には他に、周南市(旧徳山市)に「鳳鳴学館」という進学塾もあった。塾の受付の女性に聞くところによると「鳳鳴館」という書店から頂いた名前との

大館鳳鳴高等学校  
創立105周年記念  
創部100周年(野球部)記念交流試合  
大館鳳鳴VS篠山鳳鳴

10/3 14:00~16:00 大館樹海ドーム



試合開始前、マウンドに登ったのは大館野球部員。当時のポジション等、一人一人を紹介しました。



1、3年生が篠山鳳鳴を、2年生(とちアガール)が大館鳳鳴を応援。両校にすばらしい応援が繰り広げられ、この日の華でもありました。

0~19:30 秋北ホテル



10/3 10:45~12:25  
大館市民文化会館



記念講演 「世界一へ 夢と挑戦」  
鈴木 久雄氏 (14期・元本田技術研究所専務取締役)



鈴木氏が開発したホンダNSX。

この日の為に京都から鈴木氏が運転してきました。



十八日には神戸市東灘区の「らーめん鳳鳴軒」で「鳳鳴ラーメン」を食す。店内には篠山の清酒「鳳鳴」の樽や、詩経の一節などが掲げられていた。オーナーが篠山鳳鳴同窓会・西尾会長と懇意であるらしい。その足で大阪市住之江区にある「旧加賀屋新田会所鳳鳴亭」(加賀屋緑地)へ。住宅街の一角に庭園が突如として現れた。加賀屋新田は、一七四五年に大阪淡路町の両替商・加賀屋甚兵衛によって行われた民間資本活用による新田事業で(今で言うTFIか)、会所は経営の拠点であり、時には別荘機能を持った商人のサロンでもあったという。その茶室が一八一五年建築の鳳鳴亭で、数寄屋風建築。遠州風の庭園や旧書院(一七五四年建築)と合わせ、大阪の新田開発の唯一の遺構として保存されている。命名は大徳寺四百十八代貫主由實。



事であったので、書店で由来を聞くと店員氏は、徳山藩藩校「鳴鳳館」(一七八五年創立)から命名されており、響きを考え「鳳鳴」にしたようだ、と説明してくれた。余談だが、前述の鳳凰山の近くには「秋葉山」があり、大館の鳳凰山秋葉山や、かつて比内地域を治めた浅利氏の故郷・甲斐国の鳳凰山秋葉山のラインを彷彿させ「鳳鳴」の二字に隠された謎説きはまだ続きそうである。また大館中学第三代校長の三宅直温先生の出身地が鳳鳴小学校に程近い吉敷郡大内村(現・山口市)であることも因縁めいている。





27年目  
来館  
ローリアンさんのこと

川手 純夫 (特別会員)  
松山 尚 (高11期)

五月の鳳鳴会の総会で昔の交換留学生よりメッセージが来ているというので見せていただいた。それは一九七六年から七七年にかけて在学していたアメリカ・オレゴン州のセイレムより来たローリアンであった。すぐに連絡をとってみると現在は同じオレゴンのポートランドに住んでいて、偶然鳳鳴のホームページを見て今年の一〇五周年行事に参加するために大館を訪ねたいとのことであった。幸い

石田病院よりマンションの一室を提供してもよいとのこと好意にあまえて来日することになった。オーストラリアからのスザンも大館を訪ねて来ているので交換留学生では二人目の二十七年目の来館が実現したのである。(川手)

丸顔で可愛かった高校生も再会してみると立派に自立し、洗練された女性になっていた。彼女の旅の別の目的は昔お世話になった大館ロータリークラブの方々、特にホストファミリーの方々にお礼を述べることであった。そのため彼等を精力的に訪問した。特に印象に残ったのは十月九日に九十二歳になられる武内外科の謙三氏が車イスで会って下さったことである(氏は十二月十五日に永眠されました)。又、十月三日の一〇五周年記念事業の一つ「先輩による課外授業」では武内先生の隣人である小泉写真館の槇子さんの授業に出席し、熱心に聞き入っていた。九月二十八日から二週間の滞在となった彼女の旅は石田眞先生、大道校長先生と職員諸氏のおかげで実り多いものとなった。(松山)



記念祝賀会

10/3 17:30



10/19~20 篠山鳳鳴高校訪問

おじゃまします。 Part 2



今回の旅ですべての「鳳鳴」を周り尽くしたかったのだが、調べてみると学校や建物の名前などに使われ、現存しないものも含めて長崎、佐世保、佐賀、宇和島、高岡、会津、仙台...と点在している。飲食店や命名の新しいものを除いても、なぜ沢山の良い言葉がある中で「鳳鳴」なのか、探究の旅はまだ終わりそうにない。



9月以降の  
主な成績

陸上競技部・村上大啓(3D)静岡国体四〇〇MH四位入賞「八月の長崎インタ―ハイでは六位入賞」・石崎恵(2A)全県新人女子混成七種準優勝  
水泳部・畠山功幾(1A)全県新人男子自由形一五〇〇M優勝  
山岳部・小倉明希奈(2E)全県新人 天狗園部門優勝  
バドミントン部・全県新人男子団体三位(東北大会出場)  
卓球部・全県新人 女子団体ベスト8  
バレーボール部・東北新人男子優勝  
文芸部・佐々木統行(3C)全県文芸コンクール小説部

門第三席 佐々木佑毅(3C)同じく詩部門第三席(両君全国大会出場)  
美術部・殿村雅美(2A)全県高校文化祭総合美術展 絵画部門推奨(来年度全国大会出場)  
写真部・黒澤絵里子(2B)・切田麻衣子(2C)全県高校文化祭総合美術展 写真部門推奨(両君来年度全国大会出場)



秋田

11/7



大沢しのぶさん(高45)「大館曲げわっぱ太鼓」披露



札幌

9/20



比内

9/27

青森

11/15



十一月十五日、木村高明会長と佐々木勝鳳鳴高校事務局長と連れ立って青森大中鳳鳴会へ。会場となった「ラ・プラス青い森」は、まだ新しく瀟洒な感じのホテルだった。着くと高橋一己幹事長が迎えに来てくれ、青森大中鳳鳴会の現況について色々説明してくれた。部屋に通されると、参加者は我々を含めて十八人と意外に少なかったが、その代わり、最初から和やかな雰囲気。部屋中にあふれていて、目が合うと笑みがこぼれ、すぐだれとでも打ち解けて話し合うことができた。

冒頭、安井稔青森大中鳳鳴会長が「鳳鳴高校に在籍した者同士がこうして寄り集まって、これからも個人的なつながりを大切にしていきたい」と話した。青森大中鳳鳴会の方々は、言うまでもなく早くに秋田県を出て青森県人となった方が多いわけだが、お話を聞いて私は特に青森県人の、人間に対する愛情の深さ、おおらかさのようなものを感じた。

会は盛り上がり、時間ぎりぎりまで懇談して、最終電車に駆け込んだ三人は「小さな会だったけど、本当にいい会だったね」と言い合いながら家路についた。

小松 幸(高15期)  
(広報副委員長)

とあいさつ。ついで私が、小著『怪談・鳳鳴の七不思議』について短い講演。それから懇親会となったが、出席者が少ない分、ほとんど全員と親しく膝を突き合わせて話し合うことができ、中身の濃いコミュニケーションができた。

宴たけなわとなったところで、木村会長が「同窓生というものは、血液型と同じでどうせ変わらない。それだけに悪い奴が出ると腹が立つし、良いことがあると本当に嬉しい」と 同窓生血液型論 をぶって笑わせた。続いて佐々木事務局長が母校がスーパーサイエンスハイスクールに指定されたことなど近況報告。後輩たちの活動報告に移ると、自分の高校時代を懐かしむような目で、聞き入っている人も多かった。青森大中鳳鳴会の方々は、言うまでもなく早くに秋田県を出て青森県人となった方が多いわけだが、お話を聞いて私は特に青森県人の、人間に対する愛情の深さ、おおらかさのようなものを感じた。

地区会名	会長	事務局	事務局住所	電話
東京鳳鳴会	村上 芳明(高14)	工藤禮次郎(高5)	〒102-0074 東京都千代田区九段南4-3-3 (株)24スタジオ内	03-3221-4766
仙台鳳鳴会	奥田 惇二(高4)	大高 剛一(高23)	〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院2-2-78 サンチュリー(株)内	022-262-2885
札幌鳳鳴会	関 信弘(大37)	和田 稔(高4)	〒062-0042 札幌市豊平区福住2条8-10-21	011-854-4845
名古屋鳳鳴会	藤原 秀男(大43)	竹村 文碩(高18)	〒484-0041 愛知県犬山市長者町5-105	0568-67-6625
青森大中鳳鳴会	安井 稔(高10)	高橋 一己(高31)	〒030-0944 青森市大字筒井字八ツ橋1293-26	090-9632-7176
秋田大鳳鳴会	野口 修平(高17)	柴田 司(高27)	〒010-0933 秋田市川元松丘町4-59 武内印刷(株)内	018-862-8754
能代鳳鳴会	佐藤 貞三(高8)	北林 孝(高21)	〒016-0171 能代市河戸川字上相染下16	0185-52-9453
鹿角市鳳鳴会	佐藤 一(高2)	清水 順義(高15)	〒018-5201 鹿角市花輪字下中島113	0186-23-6623
鷹巣鳳鳴会	岩谷 敏男(高2)	中川 真一(高26)	〒018-3315 北秋田郡鷹巣町宮前町9-69 鷹巣町保健センター内	0186-62-6666
森吉町大中鳳鳴会	金 与恵門(大42)	桂 邦夫(高8)	〒018-4301 北秋田郡森吉町米内沢字御嶽50-1	0186-72-3582
阿仁鳳鳴会	濱田 章(大40)	福島 晴(高7)	〒018-4613 北秋田郡阿仁町銀山下新町5-8	0186-82-3115
田代鳳鳴会	猪野 慶(高4)	中村 勇(高19)	〒018-3501 北秋田郡田代町岩瀬字大柳86-2	0186-54-2608
比内大中鳳鳴会	佐藤賢一郎(高18)	米澤 健一(高3)	〒018-5701 北秋田郡比内町扇田字中扇田18	0186-55-0602
小坂鳳鳴会	川田重三郎(高7)	近藤 肇(高26)	〒017-0292 小坂町役場 農林振興課内	0186-29-3912

## 祝 叙勲

昨年秋の叙勲で次の同窓諸氏が受賞しました。おめでとうございます。

瑞宝小綬章（郵政功労）稲葉巖氏（高校4期・元九州郵政研修所長）  
旭日双光章（地方教育行政功労）殿村碩太郎氏（大中45期・元県教育委員長）  
瑞宝双光章（警察協力功労）石田眞氏（高校5期・県警察医会会長）  
瑞宝双光章（消防功労）金廣氏（高校5期定・元大館広域消防署長）

## 同窓 動静

大野一雄氏（大中22期）世界的に著名な舞踏家。97歳の現在も車椅子に座って公演活動を続けている。朝日新聞に「一生舞踏家」として昨年11月（18日～21日）写真で紹介された。神成勝夫氏（高校2期）県学校保健功労者表彰を受けた。昭和43年から母校の歯科医、昭和39年から25年間母校のラグビー部監督を務めた。9月2日、秋北ホテルで表彰祝賀会を開催した。

和田稔氏（高校4期・札幌鳳鳴会幹事長）9月5日、札幌秋田県人会の定期総会で、永年の功績に対して県知事から感謝状を贈られた。桂邦夫氏（高校8期・森吉町大中鳳鳴会幹事長）全国体育指導員功労賞を受賞。昭和50年から森吉町体育指導員で現在は同委員長、12月7日あゆセンターで受賞祝賀会を開催した。山口敏博氏（高校16期・大館市立総合病院看護長）精神保健福祉の活動で厚生労働大臣賞を受賞し、11月19日に秋北ホテルにおいて祝賀会を開催した。中村政人氏（高校33期）現代美術作家。昨春、東京芸術大学助教授に就任。「美術手帳」8月号の「現代アーティスト10組の仕事場に見る - アトリエの建築的冒険」に、これまでの作品と一緒に「湯島もみじ」というアトリエが紹介されている。また、東京の谷中で開かれた「中村政人展メタユニット」が朝日新聞（10月23日）の美術欄で取り上げられ、「下町の銭湯を改装した画廊に、超現実的な現代都市が再現されている。（大西若人）」と紹介されている。



## 寄贈 図書

著者より寄贈されました。ありがとうございました。

藤井忠志著（高校26期）「ブナの森から - クマゲラとともに -」本の森発行（¥1,800）\*藤井氏は本州産クマゲラ研究会代表、岩手県立博物館学芸第三課長で、同氏の制作によるビデオ「繁殖期の本州産クマゲラ」（¥2,000）は仙台鳳鳴会元幹事長藤田昇氏（高校6期）より寄贈された。

芹田馨編著（高校1期）「ボランティア - 経済」北海道未来総合研究所発行  
高橋壮太著・発行（昭和37年～43年・国語科教諭）歌集「みちの辺」、「みちの辺第二集」、「みちの辺第三集」

日景健著（高校3期）「釈迦内村・川口村を通して多喜二の母の周辺をみる」釈迦内温故知新の会発行  
野村正幸編著（平成4年～11年・理科教諭）

「若き化学徒柳沢将君（高校45期）を悼む - 遺稿論文と想い出集」湯郷将和・山瀬洋子著「黎明」叢文社発行（¥2,600）\*山瀬洋子は本名吉岡洋子氏（高校6期）「週刊ジャーナル」に「開花堂盛衰記」を連載中の夫湯郷将和氏が昭和63年に病没、その遺志を継いで後半部分を書き続け、昨年12月に「黎明」と改題して出版した。[日本のフロンティア魂の原点を発掘した不朽の歴史文学 医術・新聞・印刷・造船...裏から見たもう一つの明治維新]（カバー帯より）

## 短 信

鳳鳴会の事業の一つである全国大会出場選手・監督の激励会が、昨年7月

15日に母校の校長室で、木村会長、大道校長、平泉事務局長等が出席して行われた。木村会長の激励のあいさつの後、出場選手・監督に金一封が贈られ、各選手が決意表明をして健闘を誓った。全国大会出場選手・監督は次のとおりである。

全国高校総合体育大会 陸上（長崎市）小畑文香（3B）村上大啓（3D）鳴海孝幸（3E）監督大須賀浩 アーチエリー（諫早市）田中真理子（3E）菊地志保（3C）川連千尋（2A）田村沙織（3C）九嶋龍治（2F）津谷恒成（1C・マネ）監督岡部晋也  
全国高校総合文化祭 美術部門（福井市）安部英里子（3A）顧問一関智子  
写真部門（福井市）切田麻衣子（2C）顧問成田朋子  
囲碁部門（福井市）櫻田祐二（3A）顧問佐々木正志

特別会員の松本成雄先生が昨年10月逝去された。88歳であった。先生は昭和13年から2年間、母校の数学科教諭として教壇に立たれ、昭和40年からは篠山鳳鳴高校の教頭を務められ、50年3月に兵庫県立西宮高等学校長で退職された。鳳鳴会会報28号に「両鳳鳴の教壇に立って」と題して寄稿された。衷心よりご冥福をお祈りいたします。

平成14年11月17日の朝日新聞に「土井晩翠の母校仙台市立立町（たちまち）小学校が、晩翠没後50年を記念して、晩翠の作詞した校歌を収集している」という記事が掲載され、数人の会員から事務局に連絡があった。そこで、さっそく校歌の歌詞（もちろん4番まで）応援歌集（楽譜入り）、創立百周年記念CDを送付したところ、昨年9月に「土井晩翠校歌資料室」がオープンしたとの知らせがあった。晩翠が作詞した校歌は200ほどあるらしいが、そのうち国内外147校の校歌が集ったという。立町小学校は仙台市の西公園の近くにあり、機会があったら訪問してみたいものである。

（立町小学校 TEL022・222・4078）



## 平成16年度鳳鳴会総会のご案内

・日 時 5月10日(月) 午後5時 ・会 場 大館市片町 秋北ホテル「鳳凰の間」

午後6時より、同会場にて懇親会（会費5千円）を開催いたします。総会ともども、皆様お誘い合わせの上ご出席下さい。

なお、当番期は高校16・17・18期、26・27・28期、36・37・38期の各期ですので、よろしく願いいたします。

・お問い合わせ 記念館内鳳鳴会事務局（TEL・FAX 0186 - 44 - 5411）

事務局長 平泉健之助（高校8期）



## 住所変更等の際は事務局までお知らせ下さい

## 校了!

つばやき

— For closing —

・私も105周年「OBの課外授業」に参加。へたな講義を真剣なまなざしで聴いてくれる生徒達にこちらも感激!でした。最後に皆で出あって買ったお花をいただき、又々ジーン。今回の企画、どのクラスも好評で大成功でした。

（高校24期 谷川原）

・「働くおじさん」という教育番組を小学校の図書室で観ていた世代です。いつのまにか、タイトルは「働く人たち」になったらしく、さらに小学校の各教室にテレビがすえつけられて、図

書室にみんな体育座りして「働くおじさん」を観るといことはなくなってしまったらしい。105周年記念として行われた「先輩たちによる課外授業」はまさにライブ版「働く人たち」。個人的に受講しなかった講義がいくつもあった。

（高校36期 小池）

・11月7日秋田市鳳鳴会。「大館曲げわっぱ太鼓」の大沢しのぶさん（高校45期）が演技を披露。エガッタ!エガッタ!大好評でした。

（高校27期 柴田）